学校番号	218

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	2	第１学年	English Communication Ⅰ 「All Aboard!」 「All Aboard! WORK BOOK」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力を身につける実技的な授業です。英語で聞いたり読んだりしたことを基に、自分の情報や考えなどを話したり書いたりして他者に伝えることができるようになるために、授業の中では積極的に言語活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションの中でどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・確かな英語力を身につけるためには音読活動は欠かせません。授業の中では音読活動を重点的に行ないます。正しい発音を学び、他者に伝えようとする意識を持ちましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・簡単な挨拶をかわすことができる。(Good morning./Good-bye. など) ・謝ったりお礼を言ったりすることができる。（I'm sorry. / Thank you. など） ・簡単な自己紹介をすることができる。(名前、年齢、誕生日、出身地、住所など) ・日常生活の身近な話題についてYes/Noで答える質問に応答することができる。（「好き」「嫌い」など） ・日常生活の身近な数字・日付・曜日・天気などを言うことができる。 ・学んだ内容について、簡単な質問に答えることができる。	・インタビュー ・プレゼンテーション ・ワークシート ・スピーキングテスト	・日常生活の身近な単語を書くことができる。(dog / eat / happy など) ・日付・曜日・天気などを書くことができる。(five / Wednesday / cloudy など) ・短い文であれば、語順を理解して書くことができる。(I went to the park. など) ・簡単な自己紹介文を書くことができる。(名前、住所など)	・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・日常的な挨拶を理解することができる。 ・日常生活の身近な単語を聞いて、その意味を理解することができる。 ・日付・曜日・天気などを聞き取ることができる。 ・日常生活の身近な数字を聞き取ることができる。 ・教室内で用いられる英語は、簡単な指示であれば理解することができる。 教科書のリスニング活動で聞く英語は、単文であれば、正確に聞き取ることができる。	・インタビュー ・ワークシート ・定期考査	・分からない単語の意味を辞書で調べながら読み進めることができる。 ・主語と動詞を中心とした文構造に注意して内容を理解することができる。 ・英語の音声的な特徴を捉えて、1 語 1 語正確に大きな声で音読することができる。	・ワークシート ・インタビュー ・音読テスト ・定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	・机間巡視によるワークシートのチェックや活動の観察 ・グループや個人で行う言語活動を通して関心・態度・意欲を評価 ・生徒の応答	・ワークシートの確認 ・Ｑ＆Ａ活動での受け答え ・机間巡視やスピーキングテスト、インタビューによる音読活動やアウトプット活動の取組確認	・ワークシートの確認 ・Ｑ＆Ａ活動や筆答テストで評価	・ワークシートの確認 ・筆答テストで評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Pre-Lesson 1・2 (8時間)	本文に出てくる主人公に倣って、be 動詞・一般動詞を理解した上で自己紹介を行なう内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で自己紹介ができる。また自分自身のことについて Yes/No で答える。	・英語で自己紹介文を作成し、それを発表する。(自己紹介をし合う)	・英語で自己紹介をし合えている。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・英語で自己紹介をする。 ・正しい発音で英語を言う。	・英語で自己紹介文を作成する。	・正しい発音で英語による自己紹介ができる。	・ワークシートの取組状況・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・他者の発表内容を理解する。	・本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・他者の発表や本文内容を理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・主語と動詞（be 動詞・一般動詞）の関係を理解し、簡単な英文を書く。 ・身近な単語を理解する。	・be 動詞・一般動詞を使った文を理解する。 ・分からない単語の意味を調べ、理解する。	・be 動詞・一般動詞の文を理解している。 ・新出単語を理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 1 (6時間)	本文に出てくる２人の登場人物がそれぞれ住んでいる家を紹介する。またモンゴルとアイスランドの生活スタイルを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・世界の家について知っている情報を、間違いを恐れずに、積極的に話す。	・本文を読む前に、教師との Oral interaction を通して世界の人々がどのような生活をしているかを理解する。	・世界の家について知っている情報を、間違いを恐れずに、積極的に話している。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・世界の家（モンゴルとアイスランド）について学んだ情報を、他者に伝える。 ・本文内容についての質問に質問文を見ながら Yes/No で答える。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・世界の家（モンゴルとアイスランド）についての本文を他者に伝えることができる。 ・本文内容についての質問に質問文を見ながら Yes/No で答えることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・モンゴルとアイスランドに住む人々がどのような生活を送っているかについて、読んだことを理解する。	・新出単語とフレーズを学んだ上で、本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・モンゴルとアイスランドに住む人々がどのような生活を送っているかについて、読んだことが理解できる。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・一般動詞・be 動詞の過去形の使い方を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・一般動詞・be 動詞の過去形の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 2 （6時間）	世界的テニスプレーヤーである錦織圭の半生についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	・本文を読む前に、教師との Oral interaction を通して好きな有名人について理解する。	（本単元では設定しない）	
		「外国語表現の能力」			
		・錦織圭についてのスピーチを他者に伝える。 ・本文内容についての質問に質問文を見ながら Yes/No で答える。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・錦織圭についての情報を他者に伝えることができる。 ・本文内容についての質問に質問文を見ながら Yes/No で答えることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。もしく暗唱テスト。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・錦織圭について読んだことを理解する。	・新出単語とフレーズを学んだ上で、本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・錦織圭について読んだことを理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・進行形の使い方を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・進行形の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 3 （6時間）	ジャック、ユイ、ソフィーが日本の漫画文化が世界に広がっていることについて会話している内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本の漫画文化について知っている情報を、間違いを恐れずに、積極的に話す。	・本文を読む前に、教師との Oral interaction を通して日本の文化全般についてどのようなことを知っているかを理解する。	・日本の漫画文化について知っている情報を、間違いを恐れずに、積極的に話している。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の会話をペアで再現する。 ・本文内容についての質問に Yes/No で答える。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・本文の会話をペアで再現できる。 ・本文内容についての質問に Yes/No で答えることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。もしくは暗唱テスト。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		・日本の漫画文化について、読んだことを理解する。	・新出単語とフレーズを学んだ上で、本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・日本の漫画文化について、読んだことを理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞（can,will）に使い方を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・助動詞（can,will）の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 4 （7時間）	休暇中にユイがウユニ塩原を訪れたことについてメールフレンドであるリンダに送ったメールの内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・夏休みに訪れた場所についてペアで伝え合う。	・本文を読む前に、夏休みに訪れた場所についてペアで伝え合う。 ・本文を読む前に、教師との Oral interaction を通してユイが訪れたウユニ塩原について理解する。	・夏休みに訪れた場所についてペアで伝え合うことができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文で使われている表現をもとに、自分が夏休みに訪れた場所について他者に伝える。 ・本文内容または自身の夏休みについて暗唱した質問文とその答えのやり取りをする。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・本文で使われている表現をもとに、自分が夏休みに訪れた場所について他者に伝えることができる。 ・本文内容または自身の夏休みについて暗唱した質問文とその答えのやり取りをすることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。もしくは暗唱テスト。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文内容や他者の発表について読んだり聞いたりしたことを理解する。	・新出単語とフレーズを学んだ上で、本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・本文内容や他者の発表について読んだり聞いたりしたことを理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・to 不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、福祉的用法の使い方をそれぞれ理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・to 不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、福祉的用法の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 5 （7時間）	北海道にある帯広農業高等学校の学生が夢に向かって学んでいることについての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の夢について積極的にペアに発表し合う。	・本文を読む前に、自分の夢についてペアで発表し合う。 ・本文を読む前に、教師との Oral interaction を通して農業学生の生活について理解する。	・自分の夢について積極的にペアに発表し合うことができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			

		・本文を要約した文を暗唱し、他者に伝える。 ・本文内容について暗唱した質問文とその答えのやり取りをする。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・視覚的教材を用いながら、本文を要約した文を暗唱し、他者に伝えることができる。 ・本文内容について暗唱した質問文とその答えのやり取りをすることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。もしくは暗唱テスト。 ・ワークシートと評価シートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・農業学校の生徒たちについて読んだことを理解する。	・新出単語とフレーズを学んだ上で、本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・農業学校の生徒たちについて読んだことを理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・動名詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。